



普段はラリー語（現地語）やフランス語（公用語）を話すコンゴ人信者。記念祭では、日本語で「みかぐらうた」を唱えた（9月10日、コンゴブラザビル教会で）



500キロ離れた地域からも教友が駆けつけた（同）



神殿西側の広場で写真展示があり、教友たちは50年の歩みを振り返った（同）

コンゴブラザビル教会創立50周年

内戦などの節を乗り越え 新たな一歩を踏み出す

中部アフリカに位置するコンゴ共和国。首都・ブラザビル市にある本部直属コンゴブラザビル教会(バゼビバカ・ピエール会長)は9月10日、真柱様ご夫妻、大亮様を迎え、鎮座奉告祭並びに創立50周年記念祭を執行、同国内の各地から約260人が参集した。内戦などの節を、陽気ぐらしにつながる道と信じて乗り越えてきた現地の教友たち。翌11日には、婦人会コンゴブラザビル支部と青年会コンゴブラザビル分会の結成式も行われ、すでに活動している少年会とともに、新たな一歩を踏み出した。

